

タナックの温室効果ガス削減目標が SBT イニシアチブの認定を取得

タナックの温室効果ガス排出量削減目標が、パリ協定に整合した科学的に根拠ある水準であると認められ、SBT イニシアチブ（※1）から認証（中小企業版）を取得しました。



タナックは、気候変動は大きな社会課題であると同時に、当社にとって大きなリスクであると認識し、その解決に積極的に取り組んでいます。気候変動対策がさらに喫緊の社会課題となる中、温室効果ガス排出量削減目標を制定し、2023年7月、SBT 認証を取得しました。

認定された温室効果ガス排出量削減目標

Scope1 および Scope2（※2）について、2030年度までに2021年度比で42%削減する

※1 SBT (Science Based Targets) イニシアチブは、CDP（気候変動対策に関する情報開示を推進する機関投資家の連合体）、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）が2015年に共同で設立した国際的イニシアチブで、「産業革命前からの気温上昇を2°Cを十分に下回る水準に抑え、また1.5°Cに抑えることを目指す」というパリ協定の目標達成に向けて、企業が設定する温室効果ガス排出量削減目標が、科学的根拠に基づいたものになっているかどうかの検証・認定を行っています。

※2 Scope1：事業者が所有又は管理する排出源から発生する温室効果ガスの直接排出
Scope2：電気、蒸気、熱の使用に伴う温室効果ガスの間接排出

タナックは、SDGs 宣言における持続的な成長のための4つテーマの一つである「環境」において、「廃棄物の適正処理や削減、省エネ・CO2 排出量削減、3Rの推進に取り組み、事業活動による環境負荷の軽減に努めてまいります。」と宣言しています。これからも、持続可能な社会の実現とタナックの成長の両立を目指して、気候変動などの社会課題の解決に貢献し、皆様に信頼される企業であり続けるための取り組みを進めていきます。